

●新緑が鮮やかに彩り初夏の息吹を感じます。

○猿島台地に広がる原風景、茶畑は収穫の季節です。

公園南エリアの民家園の前には、茶畑が広がっています。この茶畑は昔から猿島地方で栽培されていた猿島茶の茶畑を再現したものです。猿島茶の歴史は古く、江戸時代に関宿藩が茶の栽培を奨励したことから盛んになり、幕末に日本で初めて海外（アメリカ）へ輸出されたお茶になります。このお茶は、緑茶として栽培され、さわやかな香りと深い味わいが特徴です。また、公園の茶葉は、収穫のあと丁寧に加工され公園管理事務所にて販売しています。



①茶畑



茶の葉

ふるさと古河新茶まつり開催
新茶の収穫にあたる毎年5月に「ふるさと古河新茶まつり」は、開催されます。茶摘みや茶席の他、お茶に関する出店があります。本年は**5月19日開催**です。



今月の鳥 【コジュケイ】

キジ目キジ科コジュケイ属に分類される鳥類。全長は約30cmと胴体はハトと同じ位の大きさです。名前は同じキジ科のジュケイより小型であることに由来しています。警戒心が非常に強く、見つけることが難しい鳥です。しかし、鳴き声は大きく、繁殖期にオスは、「ピーッ、ピーッ、ピーッ」と大きく鳴いたあとに、早いテンポで「ビュッグイ、ビュッグイ、ビュッグイ」とさえずります。その鳴き声は「チョットコイ、チョットコイ」と聞こえます。英語圏では「people play(人々が祈る)」と聞こえるようですよ。



★コジュケイ

○園内名所案内「富士見塚」

古河公方公園（古河総合公園）は、1975年に開園しました。その後、基本計画の見直しが1989年に始まり、最初の大きな事業として、富士見塚が完成されました。その後、御所沼の復元、天神橋の完成、シェラテリア、管理棟などが、次々に設置され、現在の公園の形になりました。富士見塚は、渡良瀬川の堤防と同じ標高22mです。その頂上からは、公園の景観、また3月になると華やかな桃林が見渡せます。



⑤富士見塚

○5月の花のご紹介

これから5月初旬から下旬にかけて花を咲かせる花木のご紹介です。カキツバタは、アヤメ科の多年草で、湿地や湿った草地を好みます。鮮やかな紫色や青紫色の花を5月に咲かせ、カキツバタは、伝統的な日本庭園や水辺の風景に調和し、季節の移り変わりを感じさせる花として親しまれています。フジは、つる性の植物で、美しい房状の花を咲かせます。紫色や白色の花房が長く垂れ下がり、春から初夏にかけて満開になります。ラベンダーは、シソ科の多年草で、紫色の小さな花が房状に咲くことが特徴です。その独特な芳香はリラックス効果や鎮静作用があるとされ、アロマセラピーや香水、ハーブティーなどに広く用いられます。



②カキツバタ



③フジ



④ラベンダー

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga_kubou
- X (旧 Twitter) @kubou_park

インスタグラムアカウント



X (旧ツイッター) アカウント

